

「道徳の時間」学習指導案

- 1 学年 第5学年4組 29名
- 2 主題名 本当の思いやり 内容項目 B－親切，思いやり
- 3 教材名 父の言葉－黒柳徹子 (出典：「5年生の道徳」 文溪堂)

4 主題設定の理由

- 相手に対して思いやりの心を持ち，親切にすることは，よりよい人間関係を築く上で欠かせないことである。「思いやり」とは，相手の気持ちや立場を考え，相手を受け入れたり，相手に共感したりすることである。そして，思いやりをもって相手が必要としていることを実際に行う行為が「親切」である。相手の気持ちや立場を考え，行動していくことで，多様な人々とよりよい人間関係を築くことができる。

この時期の児童は，幼い人や高齢者，友達に対して進んで親切にすることができる。しかし，相手の気持ちや状況を考えて上での行為ではなく，自分の価値判断で助けたり声をかけたりし，相手にとっては親切になっていない場合もある。そこで，自分の想像だけでなく，相手の立場に自分が立ち，相手は何を必要としているのかをしっかりと理解し，相手の心に寄り添った親切ができる子に育てたいと考え，本主題を設定した。

- 本学級の児童は，仲の良い友達には自分から進んで話しかけたり，優しくしたりする姿が見られる。事前アンケートでは，それぞれ次のような回答が得られた。

質問内容	肯定的回答	否定的回答
①「自分は友達に親切にできている。」	93% (27/29)	7% (2/29)
②「友達は自分に親切にしてくれる。」	96% (28/29)	4% (1/29)
③「自分は相手の立場に立って考え，行動している。」	59% (17/29)	41% (12/29)
④「自分は誰に対しても親切にできている。」	72% (21/29)	28% (8/29)

アンケートから，本学級の児童の「親切」についての実態を次のように分析した。

- ・児童のほとんどが，相互に親切にできているという意識をもっている。否定的な回答をした児童の理由は，「いつでも親切にしているという訳ではないから。」「時には，暴言をはいてしまうことがあるから。」であった。このことは，日頃の自分の行動をしっかりと振り返ることができているため，自分に対して厳しく評価をしていると考えられる。
- ・「相手の立場に立つ」という面では，クラスの約6割の児童が相手の立場に立って考え，行動しているという意識をもっている。否定的回答の理由として，「人のことをあまり考えずに行動しているから。」「相手の気持ちがよく分からないから。」「自分がされて嫌だと分かっているけど，人にやってしまうことがあるから。」などがあつた。教員の日常生活の観察では，ある児童が骨折している友達の荷物を運んで助けようとしたが，骨折している児童は自分で運びたかったため，相手にとって親切にはならなかったということがあつた。このことから，児童のする親切は，相手の立場を考えず，自分の想像で行うものになっていることが伺える。
- ・「誰に対しても」という面では，クラスの約7割の児童が誰に対しても親切にして

いるという意識をもっている。しかし、「仲がよい友達には親切にしているけれど、知らない人やあまり仲がよくない友達などには親切にしていないから。」「知らない人に対しては、どうしたらいいか分からなくなるから。」などの理由があった。このことから、親しい間柄では親切にできているので、親切にできる対象を児童が接する全ての人に広げていく勇気を与えたり、きっかけを与えたりすることが必要だと考える。

- 指導にあたって、導入では、思いやりについてのアンケート結果を見ることで、テーマへの方向付けをしていく。

基本発問では、松葉づえをついた女の子を見かけて隠れたときの「わたし」の思いをおさえる。「わたし」のとった行動の背景にある思いに共感できるようにする。

中心発問では、父の言葉「行ってお話ししなさい。」の意味に気が付いた「わたし」の「気づき」について考えることができるようにする。また、考えたことを整理するために、幼い頃の「わたし」と今の黒柳さんの思いやりに対する考え方を比較し、違うところについて話し合う。2つの考え方の違いをおさえ、本当の思いやりとは、相手の気持ちや立場を親身になって考えることだと気付くことができるようにしたい。

終末では、「私たちの道徳」の中の詩を読んで、相手の心に寄り添った親切のよさを温めて終わりたい。また、授業で考えた「思いやり」と自分の生活とを関連付けながら振り返りができるようにしたい。

5 他教科等との関連

福山 100NEN 教育における本校の【21 世紀型 “スキル&倫理観”】においては、高学年の目標である「誰に対しても分け隔てなく親切にできる子」「互いのもつ価値観を受け止め尊重する子」「角を立てず言いにくいことを伝えられる子」（他者への思いやり）及び「異なる複数の意見をもとに考え合い、よりよい意見へと発展させる子」（コミュニケーション力）に関連している。

児童は7月に3泊4日の宿泊体験活動、9月に学区民運動会を行った。総合的な学習の時間での話し合い活動や学校行事での学区民運動会の練習の中で、「誰に対しても相手の立場に立って考え、相手のためになる声かけや手助けができるといいですね。」と声かけを行ってきた。互いに相手の立場に立って考え、相手に合わせたり、思いやりのある声かけをしたりしながら活動を進めてきた中で、自分の立場を理解して親切にもらった経験を想起させ、その良さを実感させながら11月の音楽発表会やみゆきフェスタに向けて取り組んでいきたい。

本当の思いやりとは、相手の気持ちや立場を親身になって考えることだと理解し、相手の立場に立った親切をするという視点をもたせる指導を行いたい。

6 ねらい

本当の思いやりとは、相手の気持ちや立場を親身になって考えることだと理解し、相手は何を必要としているのかを相手の立場に立って考え行動しようとする態度を養う。

7 準備物 場面絵 短冊 ワークシート 座席表

8 学習過程

	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	支援(○)・評価(★)
導 入	1 「思いやり」についてのアンケート結果を見る。	○「思いやり」とは、どういうことだと思いますか。 ・人に優しくすること。 ・誰かが困っていたら、助けること。	○アンケート結果を見ることで、テーマへの方向付けをする。

2 教材「父の言葉」の前段を聞き、話し合う。

松葉づえをついた女の子を見てくれたわたしは、どんなことを考えていたでしょう。

<自分中心>

- ・気まずい。どんなことを話せばよいのだろう。
- ・自分だけ足が治って、女の子が治っていないのはかわいそう。
- ・女の子に申し訳ない気持ちだな。
- ・女の子に自分の足を見せたくないな。

<自分なりに相手のことを考えて>

- ・女の子の足が早く治ってほしいな。
- ・女の子が悲しむから、隠れた方がいいかな。
- ・わたしに会っても、嫌になるだけかな。
- ・わたしが話しかけるより、そっとしておいた方がいいかもしれない。

わたしは今、父の言葉のどんな意味に気が付いたのでしょうか。

<A:同情, 後悔>

- ・隠れるなんて、かわいそう。
- ・女の子に話しかけるべき。

<B:自分の想像, 行動が大切>

- ・隠れるよりも、話をして元気づける方がいい。
- ・行動することが大切。
- ・隠れるよりも、まずは話しかけることが大切。

<C:相手の立場に立つ>

- ・隠れることは、女の子に嫌な思いをさせることになる。
- ・自分だったら話しかけてほしいから、女の子も話しかけてほしいかもしれない。
- ・隠れていても女の子の本当の気持ちは分からないから、話して女の子の気持ちを確かめた方が良い。
- ・相手の思いを考えて行動することが大切。

6歳の時と今の黒柳さんの思いやりに対する考え方は、どんなところがちがいますか。

<6歳の時>

- ・隠れることは、自分の思う「思いやり」である。
- ・自分の勝手な思い込みによるもの。
- ・相手の立場に立って考えていない。
- ・相手が望んでいることを出来ていないかもしれない。
- ・ただ「思う」だけで、行動していない。
- ・消極的な「思いやり」になっている。

3 教材後段を聞き、黒柳さんの気づきについて考える。

4 幼い頃と今の黒柳さんの思いやりに対する考え方について比較する。

○「わたし」のとした行動の背景にある思いに共感できるようにする。

○6歳の「わたし」は女の子のことを思って隠れたということをおさえる。

○ワークシートに書かせることにより、黒柳さんの気づきをじっくりと考えさせる。

○座席表で見取り、意図的指名に生かす。

★本当の思いやりとは、相手の気持ちや立場を親身になって考えることだと理解できたか。

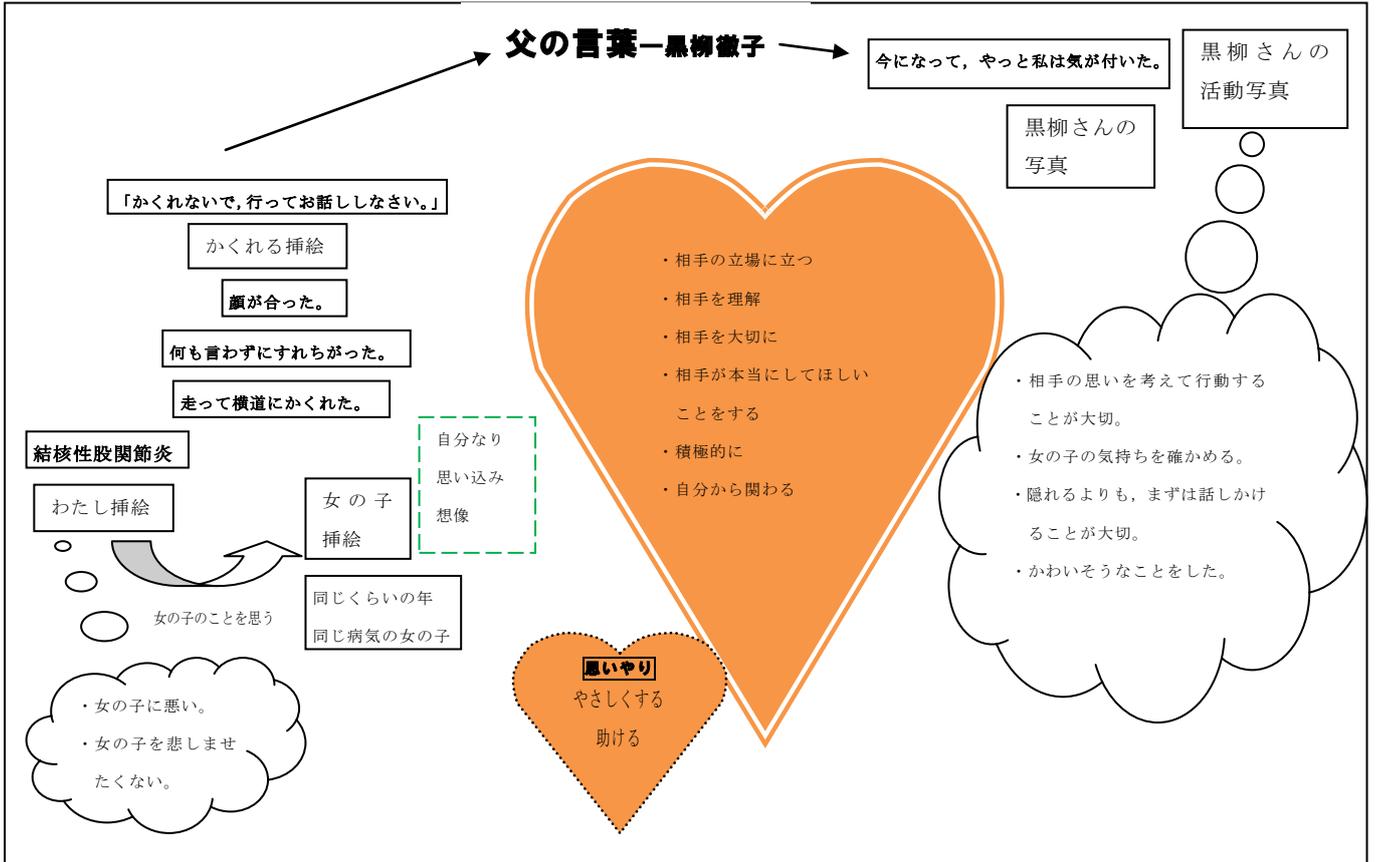
○必要に応じて、グループトークを行う。

○6歳の時も今の黒柳さんどちらも相手を思っていることを確認する。

○どちらも相手のことを考えた行為ではあるが、隠れる行為は自分本位のものであり、行って話すことは、相手の気持ちを確かめ、相手に寄り添うものである。

	<p>相手の立場に立って考えると、どういうことですか。</p>	<p><今></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に相手の気持ちを確認したもの。 ・本当に相手がしてほしいことをする。 ・相手のことを理解し、行動する。 ・みんなが笑顔になれることをする。 ・相手の立場に立って考えた「思いやり」である。 ・積極的に思いやっている。 ・人に言われなくても思いやっている。 ・誰に対しても思いやっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・相手を大切に、その人に合った親切を考えること。 ・自分の想像ではなく、相手のことをしっかり理解すること。 ・自分が思っているだけでは相手に伝わらないから、相手が本当にしてほしいことを確認したり、相手のことを理解した上で行動したりすることが大切。 	<p>○どのように行動することが相手のためになるかをよく考えて行動することが大切だと気付くことができるようにする。</p>
<p>終末</p>	<p>5 宮沢章二さんの詩を読む。 6 振り返りを交流する。</p>	<p>○私たちの道徳 P. 62 「行為の意味」</p>	<p>○ワークシートを活用し、本時の道徳的価値について自分の考えをまとめることができるようにする。</p>

9 板書計画



10 ワークシート

父の言葉—黒柳徹子

氏名

わたしは今、父の言葉のどんな意味に気が付いたのでしょうか。

自分の考えをもつことができた。

4 3 2 1

今日の授業で新しい発見があった。

4 3 2 1

友達のことを聞いて、納得することがあった。

4 3 2 1

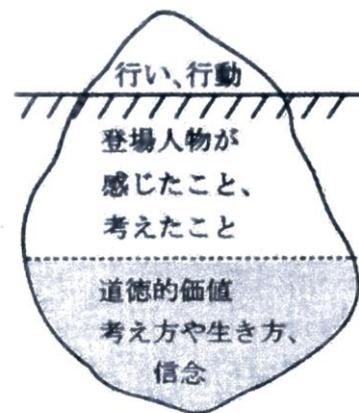
★この授業で感じたこと、新しく気付いたこと、発見したこと、納得したことなどを書きましょう。

黒柳さんの写真

(5) 年 (4) 組

内容項目 B－思いやり・親切

教材名 父の言葉



【道徳的価値の自覚を深める指導にするために】

行い 行動	黒柳さんは、今になってやっと父の言葉「行ってお話しなさい。」の意味に気が付いた。
登場人物が 感じたこと 考えたこと	<ul style="list-style-type: none">・隠れるなんて、かわいそうだな。・女の子は一人ぼっちかもしれないから、話しかけよう。・隠れるよりも、話しかけることが大切なのだな。・まずは行動することが大切。
道徳的価値 考え方 生き方 信念	<ul style="list-style-type: none">・本当の思いやりとは、相手の気持ちに寄り添い、相手の立場で考え、行動すること。・本当の思いやりとは、相手がどうしてほしいのかを考え、相手の気持ちを受け止めること。・相手の気持ちや状況を考え、相手のことを理解して行動することが大切である。・相手を大切にし、想像だけではなく、相手が本当にしてほしいことをすることが大切である。